

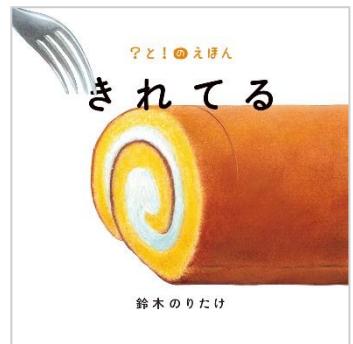
時津町は「うちどく」を推進しています

# たまには テレビをかけて

ようじむ 幼児向け 2025年 冬号



ときつちょうりつときつとしょかん  
発行：時津町立時津図書館



「きれてる」  
鈴木 のりたけ//作  
(ポプラ社)

ふんわり甘くて美味しいロールケーキがある。ひとりで食べたいから、もう少しとっちゃおう！とおもったら、あれ、へんな形にきれてるよ！？次はどんな風にきれてるのかなとページをめくるのがたのしくなります。

## うちどく 家読とは

家族みんなで好きな本を読んで、読んだ本について話す。これが「うちどく（家読）」です。難しいルールは要りません。家族みんなでルールを決めてはじめてみましょう。

家族で同じ本を読みあつたり、おとうさんやおかあさんに読み聞かせをしたりと楽しい時間を過ごしましょう。



Illustrator: ATSUJO



「まるがかけたら」  
武田 美穂//作 絵  
(理論社)

まるがかけたら、どんどん線を定していくよ。すると、ひとかたの形になって、「ぼうくん」がかけたよ。ぼうくんのお願いをきいて、線をかいていくと、どんどんぼうくんの世界が広がっていきます。読んだ後、きっとお絵描きがしたくなります。



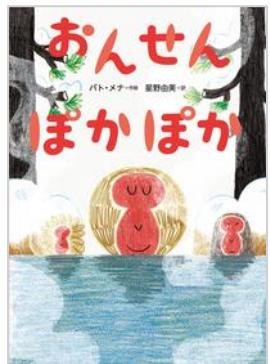
「おまわりさんのきゅうじつ」  
中川 ひろたか//文 村上 康成//絵  
(Gakken)

みんなの安全を守っているおまわりさんは、きゅうじつ何をしているの？他にもおいしゃさんやえんちょうせんせいもおやすみの日はどんなことをしているのかな？街で働く大人たちの休日をのぞいてみよう。



「きんぎょびじゅつかん」  
松沢 陽士//写真 高岡 昌江//文  
(ほるぷ出版)

きんぎょってこんなにいろんな種類や模様があるの！？美術館のように並べられた美しい金魚たちの写真をじーっとみてみよう。よくみると、同じ種類の金魚でも模様が違っておもしろい！金魚の名前や特徴もかいてあるから、金魚博士になれるかも。



「おんせんぽかぽか」  
パトメナ//作 絵 星野由美//訳  
(岩崎書店)

寒くなるとあったかーい温泉に入りたくなるのは私たち人間だけではないようです。雪山に住む、おさるさんたちが朝起きて一目散にみんなで温泉に向かいます。日本が大好きな外国人作家がかいたオノマトペが面白い、かわいくてあったかーいお話をします。



「サンタがふたり？」  
スズキトモコ//作  
(講談社)

クリスマスの日。1年で1番忙しい日を送るのはサンタさんとケーキ屋のマルタさん。そんな2人が思わずハグで入れ替わってしまいました。でも、2人ともそれぞれの仕事が楽しくなってきて...。クリスマスにぴったりの2人のサンタさんの物語。